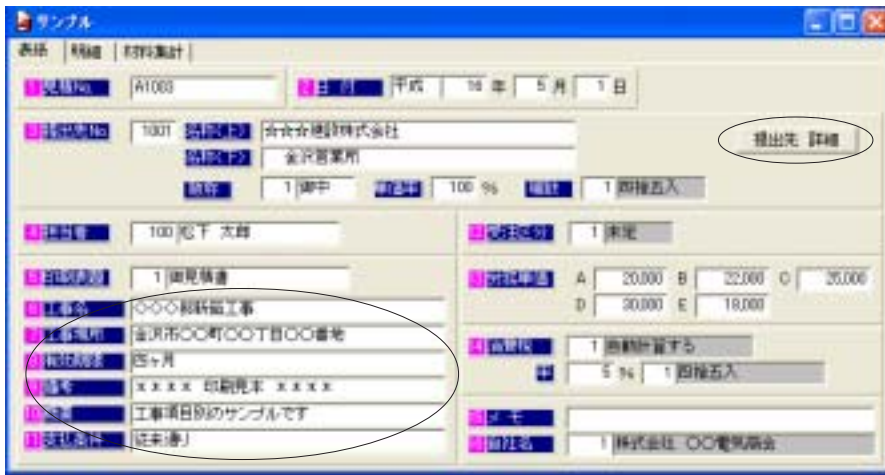


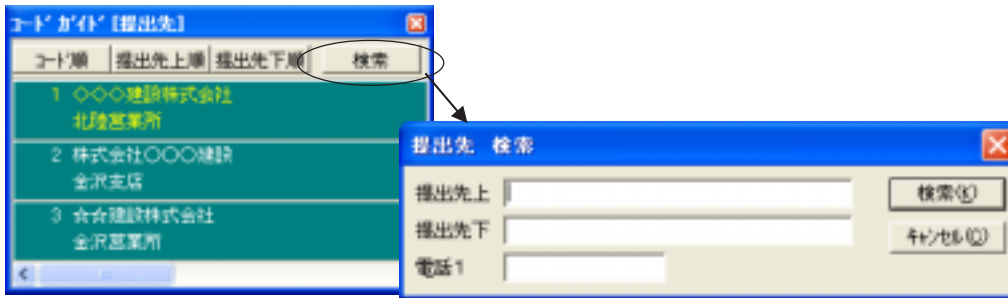
# 見積エースA Windows版 Ver.4で追加された機能

## 1. 表紙



### ○ 提出先の検索

見積書の表紙入力時に、マスター登録されている提出先の検索が可能。



「検索」ボタンをクリックすると、提出先の検索ウィンドウが表示されますので、絞り込む条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。入力した文字に該当する提出先だけを表示させることができます。

### ○ 提出先の詳細

見積書の提出先に、住所・郵便番号・電話番号・FAX番号が登録可能。表示の提出先右側の「提出先詳細」ボタンをクリックすると、郵便番号・住所・電話番号・FAX番号が登録できます。（提出先マスターにも登録できます。）



## ○ 見積書の表紙アイテムを追加

従来の「工事名」・「工事場所」・「有効期限」・「備考」の入力欄が、4項から6項に追加。

6 工事名	◇◇◇邸新築工事
7 工事場所	金沢市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
8 有効期限	四ヶ月
9 備考	***** 印刷見本 *****
10 概要	工事項目別のサンプルです
11 支払条件	従来通り

## ○ 消費税の計算方法を追加

14 消費税	3 消費税込み
--------	---------

### 1. 自動計算

従来の外税計算方式

### 2. 手動計算

従来の明細の中に、消費税を手入力する方式

### 3. 消費税込み

新たに追加された内税方式

## < 1自動計算と3消費税込みの違い >

### 1の自動計算の場合、

見積書の明細の合計が100万円の時

税別合計 1, 000, 000

消費税 (5%) 50, 000

税込合計 1, 050, 000

(入力された明細は、すべて税別金額として計算されます。)

### 3の消費税込みの場合、

見積書の明細の合計が100万円の時

税別合計 1, 000, 000

消費税 (5%) 47, 619

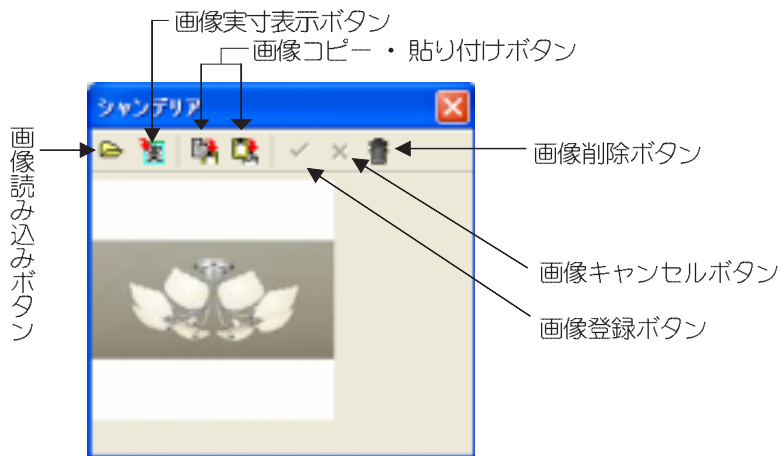
税別金額 952, 381

(入力された明細は、すべて税込金額として計算されます。)

## 2. 明細入力



- 見積明細、1行毎にURLを入力可能  
 メーカーのWebサイトで公開されている商品の仕様・承認図・概要等のWebページのURLを記入しておき、見積書の明細から、直接Webページを開くことができます。
- 見積明細、1行毎に、画像を入力可能  
 カタログをスキャンした画像データや、メーカーのWebページよりダウンロードした画像データファイルを見積明細に登録できます。明細に登録された画像は、画面表示や印刷も可能です。



- 材料ガイドの品名検索が追加！！  
 従来の品番・単価に加えて品名欄の文字による検索が可能になりました。



## ○ 税込単価を使った見積書の作成が可能！！

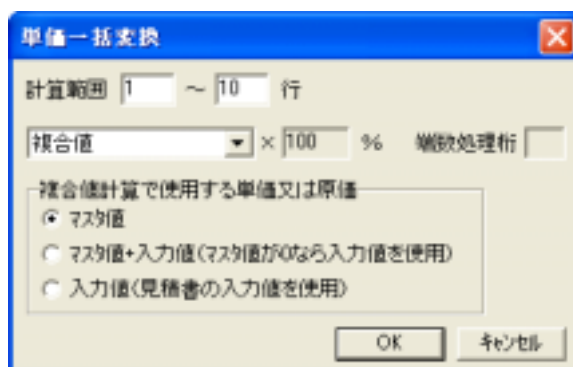
見積書表紙の、消費税の設定「3. 消費税込み」の内訳の見積書では、明細の単価欄に「税込単価」の欄が追加されます。

単価欄（税別単価）と税込単価欄は、どちらかを入力すると、もう片方の単価が自動で計算されます。複合単価や自動計算式で算出された単価は、従来通り、単価欄（税別単価）に記入され、消費税を加えた税込単価も同時に記入されます。

（提出用の見積書の明細の単価は、すべて税込単価が出力されます。）

仕様自動		行 20	項目計 込	1,033,209	見	984,000	原	862,567
	見積数	単位	単 価	税込単価	原 価	全 額	税込金額	原価金額
CP-25	35	m	189	198	145	6,615	6,930	5,075
CP-39	15	m	299	314	230	4,485	4,710	3,450
EP-19	40	m	118	124	906	4,720	4,960	3,624
	1	式	7,647	8,029	7,647	7,647	8,029	7,647
IV-8mm2	70	m	65	68	502	4,550	4,760	3,514
IV-14mm2	50	m	114	120	875	5,700	6,000	4,375
IV-22mm2	55	m	174	183	134	9,570	10,065	7,370
IV-38mm2	40	m	277	291	213	11,080	11,640	8,520
IV-60mm2	25	m	434	456	334	10,850	11,400	8,350
ル 22mm2×30	35	m	1,485	1,559	1,142	51,975	54,565	39,970
VCV 屋内用 22mm2×30	2	組	15,210	15,971	11,700	30,420	31,942	23,400
300×150mm	1	個	2,990	3,140	2,300	2,990	3,140	2,300

## ○ 明細の「単価一括変換」の「複合値」（複合単価）の変換機能を強化！！



従来のバージョンでは、品名マスターに登録されていない材料（直接入力した材料）を複合単価に変更することはできませんでした。）

ver.4では、直接入力された材料も、複合単価に変更できます。（明細上に入力された、単価・歩掛値をもとに計算します。）

## ○ 明細入力中の歩掛（1 or 2）の変更をキーに設定

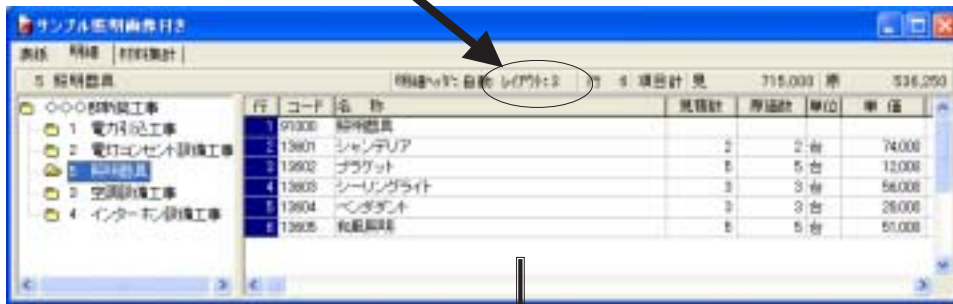
マスターから呼び出した材料の歩掛値の変更（歩掛1の値と歩掛2の値の切替）を従来のマウスを使ったボタンやメニュー操作だけではなく、新たに「Shift」+「F11」・「Shift」+「F12」のキーボード操作で切り替え可能になりました。

# 3. 見積書の印刷レイアウト選択

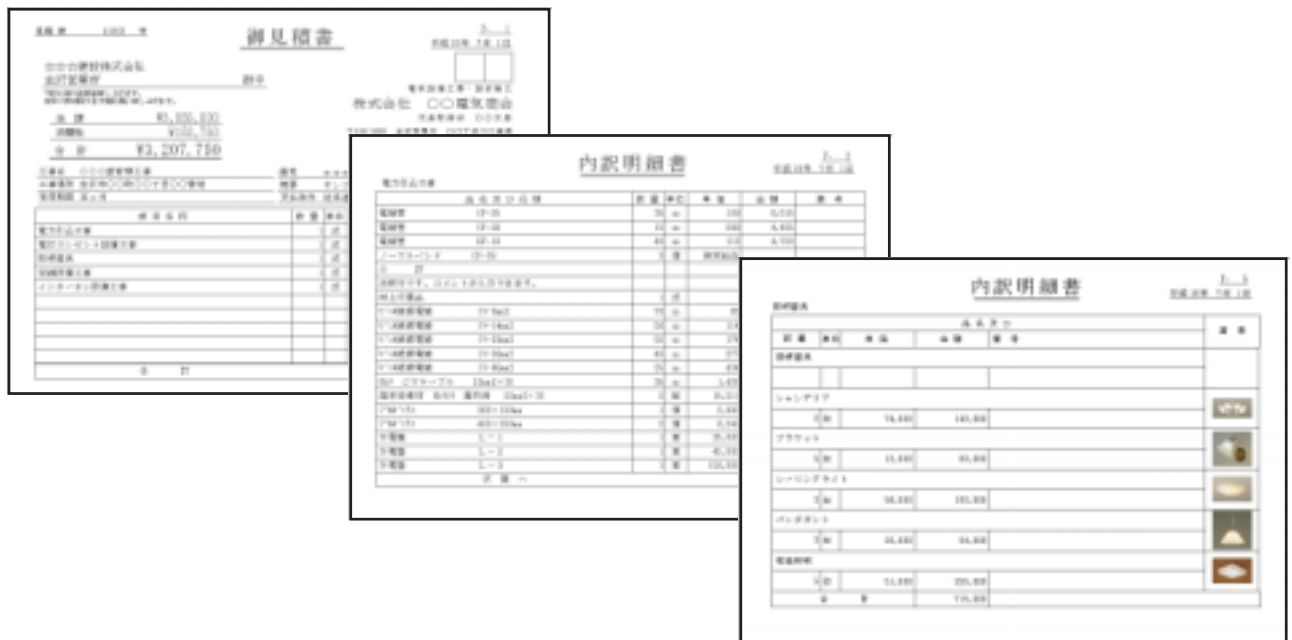
○ 見積書の印刷で、工事項目の内訳明細毎に、印刷レイアウトが変更可能

レポートエディタで製作できる見積書のレイアウトは、従来のバージョンでは1ページ用と2ページ目以降のレイアウトの2パターンでしたが、ver.4では、新たに内訳明細書用に、レイアウト3~7の5パターンのレイアウト（計7パターン）が設定可能。

見積書の内訳明細毎に印刷するレイアウトパターンを指定できます。



印刷例



# 4. 見積一覧機能

見積書の「一覧呼び出し」画面の強化！！

- 複数の見積書を同時に呼び込み可能

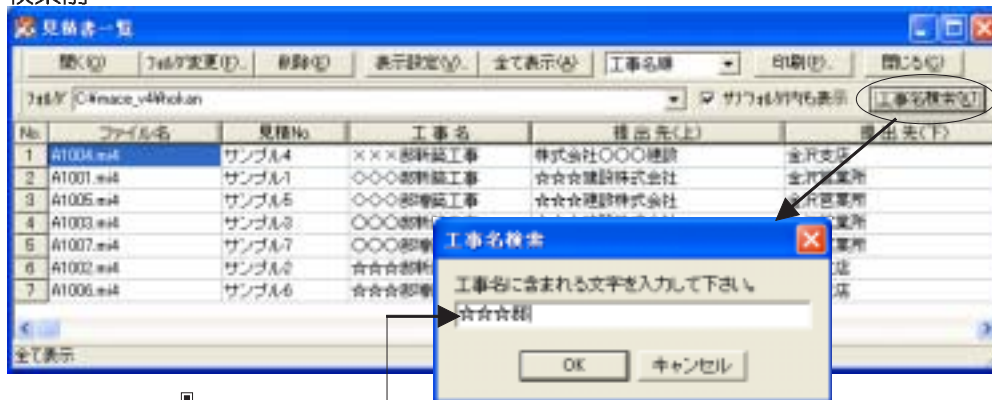


一覧画面上で複数の見積書を選択し、同時に呼び出すことが可能。

- 提出先や提出日付・担当者などで検索した結果を記憶し、一旦呼び出し画面を閉じて、再び戻っても前回の検索結果が表示される。

- 見積書の「工事名」欄でのあいまい検索が可能  
入力した文字に該当する工事名だけを表示させる事ができます。

検索前



工事名に含まれる文字を入力

検索後

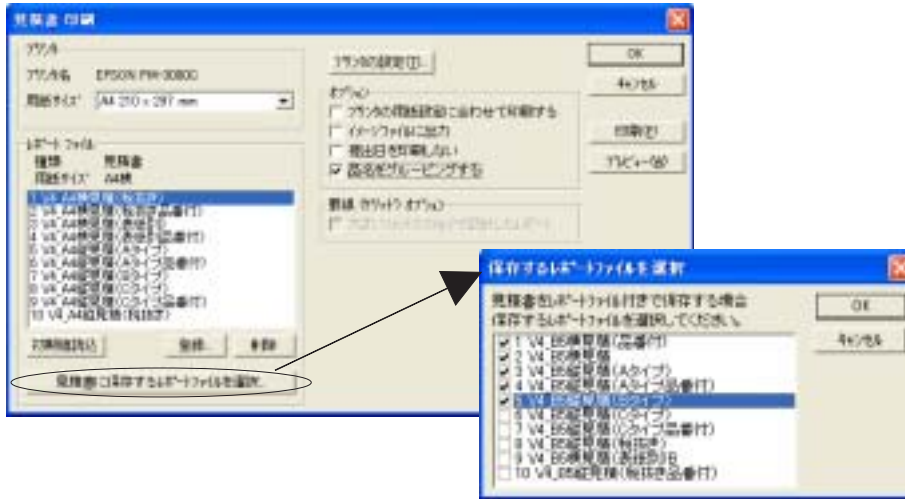


# 5. レポートファイルの保存・展開

## ○ 見積書と同時にレポートファイルの保存が可能

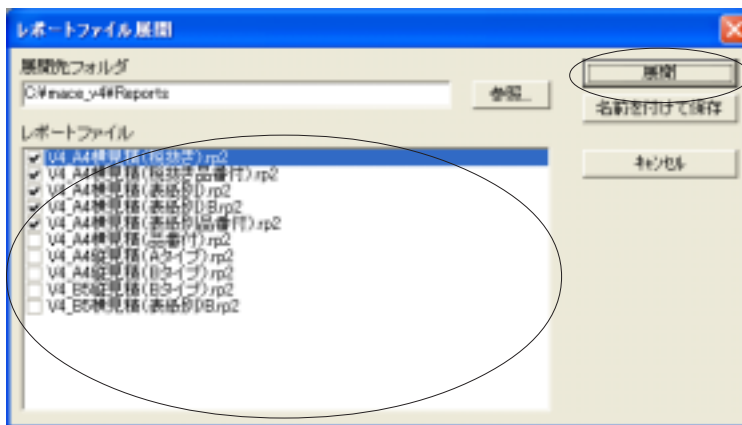
見積書を保存する時に、印刷に使用したレポートファイルも同時に保存できます。  
メールなどに添付して見積書を送った時、受け取った側の見積エースに指定のレポートファイルが無い時は見積書に保存されたレポートファイルを使って印刷できます。

見積書の印刷画面の「見積書に保存するレポートファイルを選択」でチェックを付けた状態で見積書を保存します。



## ○ レポートファイルを展開

レポートファイルが保存されている見積書を読み出した時、保存されているレポートファイルを「Reports」フォルダ（印刷に使用するレポートファイルが保存されているフォルダ）へコピーします。



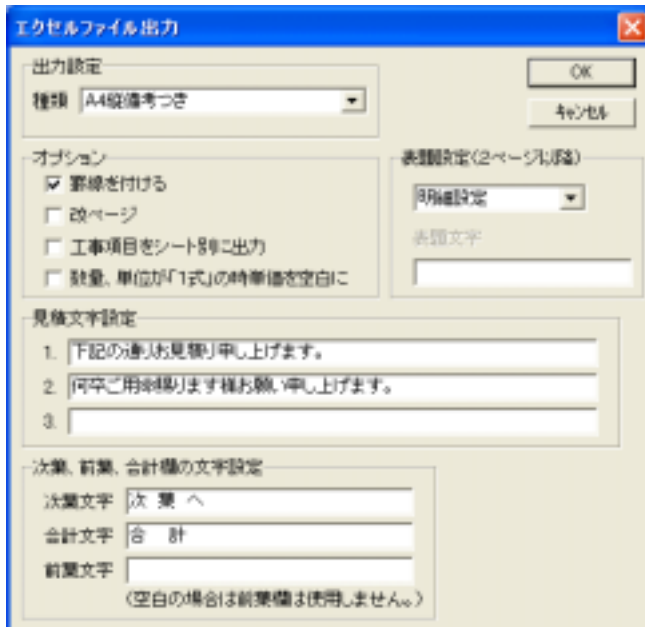
### <使用例>

本社で作成した見積書を、メールで支店に送って支店で印刷したいが、本社用の見積書の書式（レポートファイル）が支店のパソコンに無い時など。。  
見積書の中にレポートファイルも含まれているので便利です。

## 6. エクセルファイル出力

見積書をエクセルのファイルに直接出力可能。

B5縦・横、A4縦・横、表紙別など、8パターンの見積書フォーマット（出力パターンは固定）でエクセルファイルに出力できます。



- 罫線を付ける／付けない
- 改ページをする／しない
- 工事項目をエクセルのシートごとに「わかる／わけない」の指定が可能

### ※ 注意

- セル幅やフォントサイズなどの出力レイアウトは固定となっていて、出力時に変更はできません。
- 改ページをおこなった時の1ページの行数は、それぞれのパターンで固定となっていて変更できません。
- 社名は、「自社名マスター」を使用します。
- マイクロソフト社のエクセルがインストールされている必要があります。



## 出力パターン

- ・ A 4 横備考つき (品名及び仕様別)
- ・ A 4 横備考つき
- ・ A 4 縦備考つき
- ・ A 4 縦備考なし
- ・ B 5 縦備考なし
- ・ B 5 横備考つき
- ・ B 5 横備考つき (表紙別)
- ・ B 5 横備考つき (品名及び仕様別)

## 出力例

- ・ B 5 縦備考なし



- ・ B 5 横備考つき (表紙別)



- ・ B 5 横備考つき (品名及び仕様別)



# 7. 金額設定

見積書のトータル金額を設定して一括変更する「金額設定」機能の強化！！



- 見積明細の中で、変更したくない単価を細かく設定可能
- 単価の桁数によって設定後の端数処理（100円単位・1000円単位等）を設定可能

- 新たに試算画面を追加

試算ボタンを押すと、確定する前に、処理前と処理後の明細の単価を比較できます。

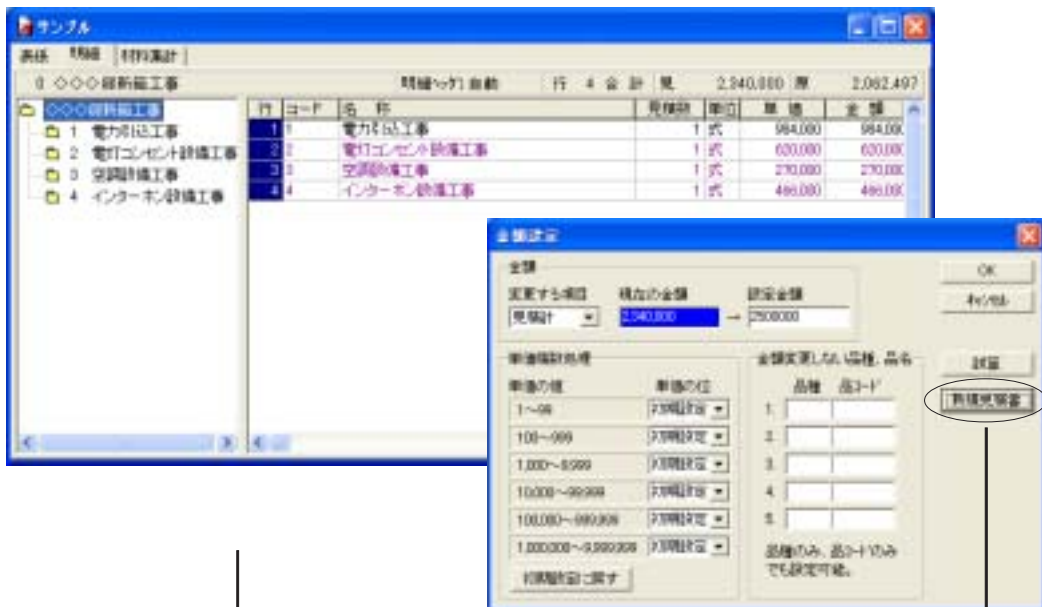


# 見積エース Ver.4 バージョンアップ内容

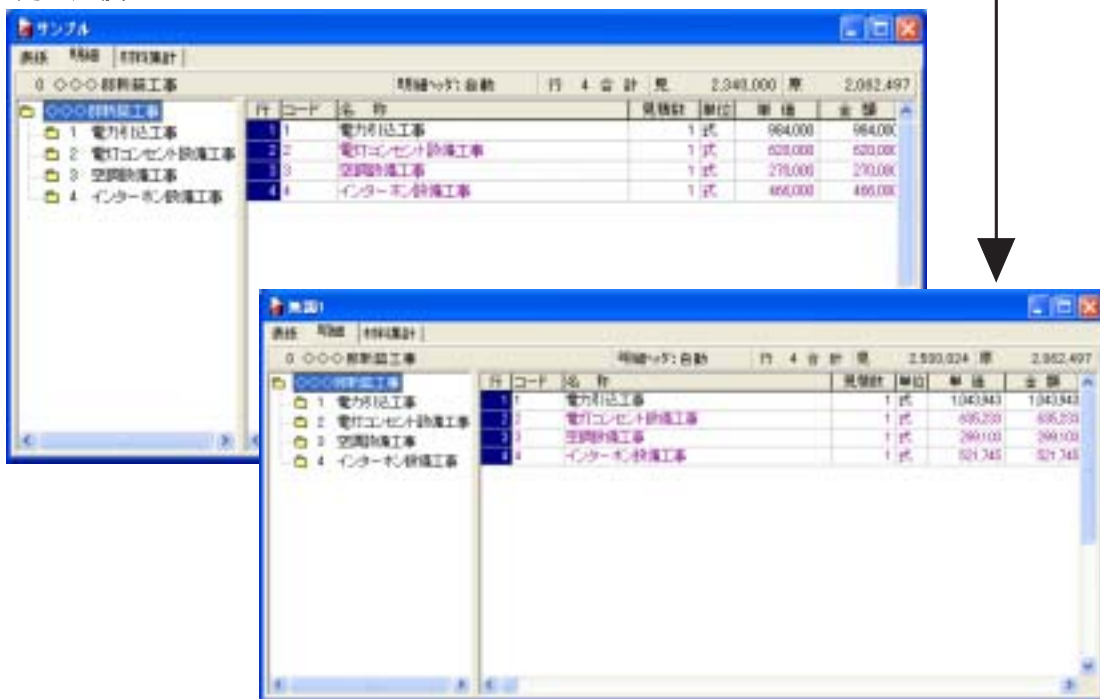
## ○ 新規見積書の作成可能

処理前の見積書はそのまま残しておいて、変更後の見積書を新たに作成する事が可能です。  
明細の単価以外（表紙など）の内容は元の見積書と同じになります。

### 金額設定前見積書



### 元の見積書



新しく作られた見積書

## 8. 建設物価ファイル入力

### 建設物価データ入力

財団法人建設物価調査会が提供している「建設物価データベース」を品名マスターに入力します。

入力可能なデータファイルの種類は、「単価データファイル」（「土木資材編」「建設資材編」「電気設備編」「機械設備編」）のみです。

「建設物価データ入力」では、「品名テキストファイル入力」と違い、すでに品名マスターに建設物価データが登録してある場合は、単価のみ更新します。

登録が無い品目は、「建設物価コード→分類コード」の変換テーブルを先に、自動的に品名マスターに追加します。

単価の更新は、品名マスターの品番の欄に記入されている番号と、建設物価の品目コードが一致した品名単価のみ行います。



建設物価コードの変換テーブルは、各マスターごとに設定できます。

サンプルとして、電気設備と機械設備用の2種類の品名マスターが付属します。（変換テーブルと品名マスターの分類が設定されています。）

## 9. 見積書印刷イメージファイルの出力

見積書印刷時にイメージファイルに出力できます。

出力されたイメージファイルは、専用ソフトでプレビューと印刷が可能です。

見積エースがインストールされていないパソコンでも、専用ソフトとイメージファイルがあれば、見積エースから印刷するのと同じ状態で、出力が可能です。

専用ソフトは、単体で起動し、あらかじめインストール等の操作は必要ありません。

専用ソフトは配布も自由なので、見積書の提出先に提出する見積書のイメージファイルと専用ソフトをメールで送れば、先方でプレビュー・印刷が可能です。

イメージファイルは、イメージデータ（画像データ）として、保存されているので、中の値を変更する事も出来ません。

The screenshot shows a 'Report Preview' window with a blue title bar. The document is a '御見積書' (Estimate) for '☆☆☆建設株式会社 金沢営業所' (☆☆☆ Construction Co. Kanazawa Office). The date is '2014年7月1日'. The total amount is '¥2,457,000'. The document includes a table of items and their costs.

項目名称	数量	単位	金額	備考
電力引込工事	1	式	384,000	
電灯コンセント設備工事	1	式	820,000	
空調設備工事	1	式	270,000	
インターホン設備工事	1	式	408,000	

# 10. その他

- 品名マスターの1材料ごとに、画像・URLが登録できます
- 品番の入力文字数が、品名欄と同じ64文字（半角）までに増えました
- 品名マスターのバックアップボタンを追加、簡単に品名マスターのバックアップが作成可能
- 見積エースで作成した見積書を、見積King、見積ライトの形式にコンバート可能
- レポートエディタで、罫線と明細を一括で配置・設定できる「明細グリッド」を追加
- 材料ガイド・コードガイドのフォント・フォントサイズ・背景色・フォント色の設定が可能
- 見積書印刷時に提出日付の数値のみ空欄にする指定が可能（平成16年9月1日→平成 月 日）

## ◆見積エース旧バージョンお使いの注意事項◆

- 見積エースVer.4は、「工事原価管理システム」との連動はしません。  
提出先や品名マスターの仕様が変わったため、「工事原価管理システム」と共通に使用する事はできません。
- CADシステム「ANDES電設シリーズ」との連動は出来ません。
- 見積エースVer.4は、従来のVer.1～Ver.3とは違い、新しいシステムとしてWindowsにインストールされます。  
旧バージョンがインストールされているパソコンに見積エースVer.4をインストールしても、旧バージョンもそのまま使用できます。
- 見積エースVer.4には、電気工事用の品名マスターと、設備工事用の品名マスターの両方が付属されています。

以上

平成16年9月1日

■開発元 有限会社アクセスソフトウェア  
サポートセンター  
TEL (076) 291-9040 FAX (076) 291-9098  
URL <http://www.access-soft.co.jp/>  
<http://www.access-soft.net/>